

特集

# まちに を、集めよう。

水海道のまちなかの現状をどう感じていますか？

市のヒアリングでは「集まる場所が欲しい」、「おいしい料理が食べられるお店がほしい」などの回答がありました。

今月号では、水海道駅周辺地区のまちなかに賑わいを再生する取り組みを特集します。

◆問い合わせ＝☎商工観光課(内線2460)





## まちなかの歴史

「水海道駅周辺地区」は、江戸時代より市の中央部を流れる鬼怒川の水運により常総地方の商業都市として、豊かな穀倉地帯を背景に大きな飛躍を遂げました。

その後、鉄道の開通や河川にかかる橋の永久橋化などにより、商業都市として商業の集積が図られ、経済的、文化的に大きく発展してきました。

## まちなかの今

全国的に、自動車産業の発展に伴い、車の利用が社会的に一般化したことで、流通構造の変化等による大規模集客施設の郊外立地、居住人口の減少等により中心市街地のコミュニティとしての魅力が低下しつつあります。

当市も、2004年をピークに市全体の人口減少が始まっていて、水海道駅周辺地区においても減少傾

向にあります。

一方、水海道駅周辺地区は市域全体の暮らしや発展を支える役割が期待されていて、居住者の増加に加え商業観光機能の強化等を通して、中心市街地の活力を維持・向上させることが喫緊の課題となっています。





## 賑わい創出のプロフェッショナル

中心市街地の活力を維持・向上させるにあたり、市は、地域総合整備財団（ふるさと財団）より、全国4自治体のみ採択される「まちなか再生事業」の助成自治体に選ばれました。

これにより、補助金を活用して、まちなかの再生を図ることができるようになり、市は外部専門家を活用して総合的な見地から事業を進める事が可能となりました。

そこで、市は公共の場を活用した賑わい創出で実績がある株式会社ひらく染谷拓郎代表取締役社長を本業務のまちなか再生プロデューサーに任命しました。

染谷氏がプロデュースする取り組みは、2019年に水海道あすなろの里で開催した公民連携のキャンペーン「森の生活」以来2度目となります。そんな染谷さんにインタビューを行いました。



まちなか再生プロデューサー  
染谷 拓郎

場と機会を  
つくり  
うれしい時間を  
提供する

——常総市の現状をどう感じているか教えてください。

元々私は守谷市出身で、よく水海道やあすなろの里などに遊びにっていました。

思い入れのある土地だからこそ、いまも当時とあまり変わらない風景にホッとします。またホッとすると同時に、このまちをもっと良く変化させていく動きをどう作るかを考えていきたいです。

——今回事業の対象となる、水海道駅周辺地区について、どう感じているか教えてください。

道の駅の開業など市内外から注目が大きな動きがある一方、水海道駅周辺地区は変化が起きにくい状況にあるという理解をしていました。

ですが、今回のプロジェクトでたくさんの人からお話を聞いていくうち、変化するきっかけをいくつも見つけることができ、前向きに感じています。



——水海道駅周辺地区のまちなか再生事業を行うにあたり、課題と感じていることを教えてください。

そもそも「知ってもらう」ことの難しさを感じています。

今回も、広報紙にチラシを封入しても「この施策は知らなかった」という方が多く、市からの配布物やSNS・ネット上の情報だけでなく、まちなかに大きくポスターを掲示するなど、目に留まる機会設定が必要だと考えています。

——染谷さんが目指す水海道駅周辺地区のまちなか再生の未来像を教えてください。

市民の方が何かをやりたいと思った時に、それをすぐ叶えられる環境があること。

それぞれの足を引っ張り合わず、違いを認め許し合えること。

すべてを新しくするのではなく、古くからあるものを大切にできること。

そうした価値観を具体的な形で、市民の皆さんに体験できる場所と機会を作りたいです。



——未来像を実現するための戦略やアクションを教えてください。

何をするにしても、すぐに効果が現れるものはありません。2～3年ほどかけながら、まずは沢山のの人に会って、話を聞き、まちを変えていく土台を作りたいです。

そして、100人いたら90人がそれなりに嬉しいことと、10人が強烈に嬉しいこと。その両面をもって企画を立てていく必要を感じています。

——最後に、市民の皆さんに、メッセージをいただけますでしょうか。

ぜひ、まちに住む皆さんの声を聞かせてください。皆さんの声をもとに、僕たちはアクションをしていきます。

まずは、景色の変わった市民の広場に顔を出していただけると嬉しいです。11月26日の「ふりかえりの会」では、直接お目にかかることもできますので、どうぞご参加ください。





# 社会実験 “ジョーソー コレクティブ Joso Collective”

ジョーソー コレクティブ  
「Joso Collective」は販賣創出のために、  
まちなかの集まり方と集まる場所を再定義をするプロジェクトです。



## まちなかの魅力を感じる

まちの魅力を集める社会実験 ジョーソー コレクティブ 「Joso Collective」  
市民の広場を中心に、水海道駅などまちなかエリアで学びや交流、発見が生まれる新しいまちを過ごすイベントを週末に開催することで販賣を創出し、未来のまちなかへの期待感を醸成しています。  
今後も11月26日まで定期的に市民の広場でイベントが開催されますので、ぜひご参加ください。

## 今後のイベント

### 「常総世界めし x 世界で遊ぼう！」

開催日時：11月11日・12日 10:00～16:00

### 「常総 Roman x Retro」

開催日時：11月25日・26日 10:00～16:00

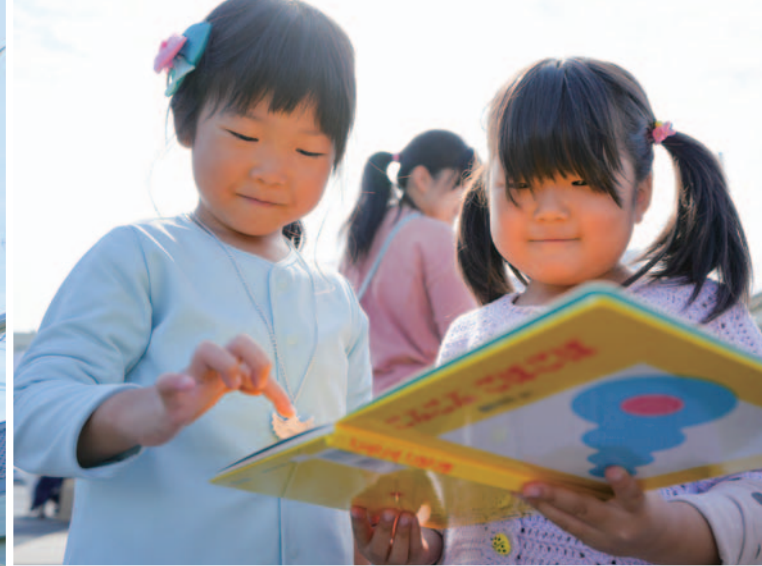
### ふりかえりの会 (シンポジウム)

開催日時：11月26日 10:00～12:00

場 所：生涯学習センター







SNSにも動画や写真を掲載しています



YouTube



note



Instagram

イベントの様子は市公式 SNS の note や Instagram に掲載しています。また、まちなか再生事業についての動画を YouTube に掲載しています。

そちらもご覧ください。



アンケート調査にご協力ください

まちなか再生のアンケート調査を実施しています。アンケート用紙は商工観光課とイベント会場にも設置してありますので、ご協力をお願いします。